

行執日五十月正夏神粥筒前神山名榛

もろこし
 かつごけあそきお早ひあ大木お中早いさお早小大かあお早うな鶯夕
 ろらづくあきこわくいさく小いく大すか
 こししみましるばびわわえなんたねねもげ豆豆麦麦こさ豆豆りびなほ
 十八十かい七かい六七八十六かい半十半八六半かい六八同半六八半七半十半六
 分分分ん分ん分分分分分ん吉分吉分分吉ん分分吉分分吉分吉分吉分

行執日五十月正事神粥筒前神山名榛

もろこし
 かつごけあそきお早ひあ大木お中早いさお早小大かあお早うな鶯夕
 ろらづくあきこわくいさく小いく大すか
 こししみましるばびわわえなんたねねもげ豆豆麦麦こさ豆豆りびなほ
 十八十かい七かい六七八十六かい半十半八六半かい六八同半六八半七半十半六
 分分分ん分ん分分分分分ん吉分吉分分吉ん分分吉分分吉分吉分吉分

〔釈文〕

④ 榛名山神前筒粥神事（正月十五日執行）

年不詳

来訪神としての先祖は、子孫たちに様々な恩恵を与えると考えられています。特に、正月に来訪する「年神(歳神)」は、農業を守護するとされ、その年の農作物の豊凶を知らせてくれる存在でもありました。この史料は、高崎市榛名町に鎮座する榛名神社で小正月に行われる「筒粥神事」の結果を印刷したものです。この神事は、粥の中に筒を入れ、筒に入った粥の状態で作物の豊凶を判断するというものです。

横山雄二郎家文書 P8203 No.5-115

(高崎市中泉町)